

2011 年 12 月 26 日
株式会社みずほコーポレート銀行

「日中省エネ環境ファンド」の組成について

株式会社みずほコーポレート銀行（頭取：佐藤康博）は、国際協力銀行（経営責任者：渡辺博史）、日揮株式会社（代表取締役会長：竹内敬介）中国輸出入銀行、杭州市産業発展投資有限公司、浙報伝媒控股集团有限公司とともに、省エネ環境ファンド組成の方針を決定し、12 月 25 日に中国北京にて開催された日中首脳会談において覚書を締結しました。

省エネ・環境保護は第十二次五カ年計画にも盛り込まれた中国政府の政策重点分野であり、日中両政府は、「日本国政府及び中華人民共和国政府による環境保護協力の一層の強化に関する共同声明」を発表し、エネルギー・環境保護分野における協力の強化を確認しています。

本覚書はこのような動きを金融面からサポートすることを目指すものであり、日中両国の有力な金融機関と提携することで、中国における省エネ・環境保護関連のベンチャー企業への資本性資金の供給を行ないます。また、有力エンジニアリング会社との提携により、省エネ・環境保護分野における日系企業の高い技術力を生かした良質なプロジェクトの実現が期待されます。

当行は、本件への出資を通じ、中国においても深刻化しつつある環境問題の解決にも貢献していきます。また、ノウハウを蓄積することにより、日系環境関連企業の中国ビジネスの拡大をサポートしていきます。

（参考：ファンドの概要）

名称（仮称）	日中省エネ環境ファンド
ファンド総額	10 億元（約 120 億円相当）
共同発起人	株式会社みずほコーポレート銀行、国際協力銀行、日揮株式会社、中国輸出入銀行、杭州市産業発展投資有限公司、浙報伝媒控股集团有限公司
投資顧問会社	青雲キャピタル
投資目的	中国省エネ・環境保護分野における日中両国企業の協力推進 中国における省エネ・環境保護関連のベンチャー企業への投資

以 上